

平成29年10月5日

報道機関 各位

平成29年度 生命融合科学教育部シンポジウム
ライフサイエンスを開拓先導する分子科学

開催日時 平成29年11月10日（金）12:50~17:45

開催場所 富山大学 黒田講堂（ホール） 五福キャンパス

謹啓 爽冷の候、貴機関におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、この度本教育部において、別紙のとおりシンポジウムを開催する運びとなりました。
つきましては、本シンポジウムの報道につきましてご配慮いただきたく、ご案内申し上げます。

【開催趣旨・目的】

分子を基盤とした生命科学・生体関連化学の研究は、基礎科学としての重要性に加え、創薬・診断・医療材料・クリーンエネルギーなどの応用技術のシーズ創出が期待される分野です。本シンポジウムでは、この分野でご活躍されている学内外の6名の先生方にご講演いただきます。

【講演内容】

「ペプチド転移反応を用いたアミロイドベース機能性ポリマーの作製」

迫野 昌文 富山大学 大学院生命融合科学教育部・准教授

「ナノメディシン分子科学を基盤とした

バイオアクティブマテリアルの創製と細胞医療への応用」

中路 正 富山大学 大学院生命融合科学教育部・准教授

「無機半導体と生体触媒の組み合わせによる光水素生成」

萩原 英久 富山大学 水素同位体科学研究センター・准教授

「オリゴDNA鎖が関わるコロイド・界面現象」

金山 直樹 信州大学 大学院総合工学系研究科・准教授

「天然物群の迅速合成・骨格多様化の新展開」

大栗 博毅 東京農工大学 大学院工学研究院・教授

「核酸化学における “To B or not to B”」

杉本 直己 甲南大学 FIBER・FIRST・教授

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学工学部総務課

〒930-8555 富山市五福 3190

電話：076-445-6701



平成29年度 生命融合科学教育部シンポジウム

ライフサイエンスを開拓先導する分子科学

平成29年 11月10日(金) 12:50~17:45 富山大学・黒田講堂
(五福キャンパス)

プログラム

12:50~13:00	開会挨拶 豊岡 尚樹 富山大学 大学院生命融合科学教育部長
13:00~13:30 (座長: 松村 茂祥)	ペプチド転移反応を用いたアミロイドベース機能性ポリマーの作製 迫野 昌文 富山大学 大学院生命融合科学教育部・准教授
13:30~14:00 (座長: 石山 達也)	ナノメディシン分子科学を基盤とした バイオアクティブマテリアルの創製と細胞医療への応用 中路 正 富山大学 大学院生命融合科学教育部・准教授
14:00~14:30 (座長: 大津 英揮)	無機半導体と生体触媒の組み合わせによる光水素生成 萩原 英久 富山大学 水素同位体科学研究センター・准教授
14:30~14:45	休憩
14:45~15:30 (座長: 迫野 昌文)	オリゴDNA鎖が関わるコロイド・界面現象 金山 直樹 信州大学 大学院総合工学系研究科・准教授
15:30~16:25 (座長: 阿部 仁)	天然物群の迅速合成・骨格多様化の新展開 大栗 博毅 東京農工大学 大学院工学研究院・教授
16:25~16:40	休憩
16:40~17:40 (座長: 井川 善也)	核酸化学における“To B or not to B” 杉本 直己 甲南大学 FIBER・FIRST・教授
17:40~17:45	閉会挨拶 井川 善也 富山大学 大学院生命融合科学教育部・教授

主催: 富山大学 大学院生命融合科学教育部 <http://www.ils.u-toyama.ac.jp>

問合わせ先: 富山大学工学部総務課 〒930-8555 富山市五福3190, 076-445-6701